

【ファッションデザイン科 1年】

	カリキュラム	コマ数	読み替え	コマ数	担当
一般科目	コミュニケーション活動Ⅰ	30	コミュニケーション活動Ⅰ	30	菅
	ＩＴリテラシー	15	ＩＴリテラシー	15	鈴木
専門科目	ソーイングⅠ	75	ソーイングⅠＡ	15	安藤
			ソーイングⅠＢ	10	安藤・戸村
			ソーイングⅠＣ	20	安藤
			ソーイングⅠＤ	40	安藤
	コミュニケーション技法	15	ソーイングⅠＥ	40	安藤
	ファッションコーディネート	15	ソーイングⅠＦ	25	長野
	パターンメイキングⅠ	45	パターンメイキングⅠ	50	戸澤
	ドレーピングⅠ	15	ドレーピングⅠ	15	戸澤
	ファッションデザインⅠ	30	ファッションデザインⅠ	30	大谷
	アパレル素材論Ⅰ	15	アパレル素材論Ⅰ	25	金原
	ファッションビジネス論	15			
	ファーストプロジェクト	30	ファーストプロジェクト	15	カルフォ
	デザインリサーチⅠ	45	デザインリサーチⅠ	30	カルフォ
	色彩学	30	色彩学	25	小長谷
	ファッショントレンドⅠ	15	ファッショントレンドⅠ	10	菅・相川
	現代ファッション史	15	ファッション史	10	金原
	デザインアプリケーションⅠ	30	デザインアプリケーションⅠ	30	本野
	ファッション経済学	15	ファッション社会学Ⅰ	15	菅
特別科目	キャリアプランⅠ	15	キャリアプランⅠ	15	菅
	共通選択科目	15	共通選択科目	15	担当講師
年間履修時間数		480		480	
年間授業日数		180		180	

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
時間数は45分換算				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅰ			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	菅 麻紀		
授業の目的・目標							
クラスや学科でのグループ活動をととして、社会性を身に着ける。ファッションに役立つ企画展・展示会などの鑑賞で視野を広げ、リクリエーションを通してコミュニケーションの大切さを学ぶ。							
授業の概要							
各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し、相手に考えや意思を伝え合うことを学ぶ。							
成績評価の方法							
参加意欲や姿勢・レポートなど総合的に評価する。					平常点	50%	
					レポート	50%	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	オリエンテーション		2				
2.	〃		2				
3.	〃		2				
4.	〃		2				
5.	学校行事・学科活動		2				
6.	芸術鑑賞		2				
7.	〃		2				
8.	健康診断		2				
9.	レクリエーション		2				
10.	〃		2				
11.	〃		2				
12.	〃		2				
13.	ファッション校外研修		2				
14.	〃		2				
15.	〃		2				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
ITリテラシー			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	鈴木 栄人
授業の目的・目標					
自分のパソコンの使用環境を設定する。 Microsoft365を必要程度に利用することができるようになる。 これらのツールを使って、プレゼンテーションの資料を製作できるようになる。					
授業の概要					
自分のパソコンにインストールしたアプリの使用がある程度できるような知識を習得する。情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはMicrosoft365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。Zoomを使ったリモート環境が利用できるようになる。OneDrive環境を利用したスマホ⇄PCの連携方法ができるようになる。					
成績評価の方法					
1. 各授業日に作成した提出ファイル 2. 平常点（授業に取り組む姿）					平常点 40% 提出物 60%
使用テキスト・教材					
使用テキスト：なし 教材：自分のパソコン					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. オリエン、インストール確認			2		
2. OSの基本操作、Zoomの使い方			2		
3. Webアプリとデスクトップアプリについて			2		
4. OneDriveの使い方。AdobeInst			2		
5. Adobeソフトのインストールの確認			2		
6. スマホとパソコンを連携させる			2		
7. Wordの紹介			2		
8. Excelの紹介			2		
9. 生成AIの活用方法			2		
10. PowerPointをプレゼンの仕組み			2		
11. ナレーション入り動画作成法			2		
12. テーマに沿ったプレゼン演習			2		
13. テーマに沿ったプレゼン演習			2		
14. PowerPointから動画作成			2		
15. 今後のPC活用について			2		
その他			関連科目		

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ソーイング I A			講義・ 演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	安藤 明子
授業の目的・目標					
被服製作をスムーズに進めるため、各道具の使い方を知り、デザイン・生地にあったテクニックを身に付ける。					
授業の概要					
被服製作において、作図及び縫製時に使用する基本的な用具を使い、手縫いとミシンのテクニック学ぶ					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢・提出物に対する取り組み・提出期限を守るなどの事柄を総合して評価する。					学習意欲 60%
					提出物 40%
使用テキスト・教材					
洋裁道具一式、 指ぬき（革製でも金属製でも可）、A3クリアブック、油性黒細ペン、 シーチング					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 服飾造形について・シラバス説明			2		
2. 使用道具の説明 仕付け糸の準備			2		
3. 用布（シーチング）のカット			2		
4. 手縫い しつけ・運針など			14		
折り代の始末（各まつり縫い）					
ホック類・ボタン付け					
星止め・糸ループ					
ろう引きの仕方					
5. ミシン縫い			10		
直線・ジグザグ・曲線縫い					
三つ折りミシン					
縫い代の始末					
（折伏せ縫い・袋縫い等）					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ソーイング I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ソーイング I B			講義・ 演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	安藤 明子 戸村 寿恵子
授業の目的・目標					
人体を知り、平面作図の基になる原型を理解することで、今後の平面作図による被服製作につないでいく。					
授業の概要					
文化原型を基に平面を立体にすることを学ぶ。また、標準原型を調整して自分サイズの原型を制作する。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢・制作物に対しての取り組みを総合して評価する。					学習意欲 60% 提出物 40%
使用テキスト・教材					
誌上・パターン塾Vol.1 トップ編、縮尺定規一式、定規一式、ガラスメジャー、カッターナイフ、シーチング					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 人体観察・原型について			1		
2. 採寸			1		
3. B原型を調整してトレース（用紙）			2		
4. シーチングトレース（用布）					
折り代の始末（各まつり縫い）			4		
5. 組み立て①ダーツ					
②肩・脇			7		
③後ろ中心					
④前中心					
⑤裾上げ					
6. 仮縫い・補正			4		
7. 自身原型制作			1		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ソーイング I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ソーイング I C			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	40	1	安藤 明子
授業の目的・目標					
スカートの基礎知識と基本タイトスカートからのデザインに合わせた展開法を学び、デザインを形にすることを学ぶ。縫製テクニックを実践する。					
授業の概要					
基本的なタイトスカートから展開したスカートを制作する。ファスナー・ベルト付けや基礎縫いのテクニックを実践する。制作過程等をを資料としてまとめる。					
成績評価の方法					
作品の完成度・課題の提出状況及び提出期限、授業に対する取り組み等を総合して評価する。					学習意欲 40% 課題 40% 提出期限 20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系服飾造形講座②スカート・パンツ、誌上・パターン塾スカート編テキスト、A4無地ルーズリーフ、A4リングファイル、洋裁道具一式、全定規一式、カッターナイフ、シーチング					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. シラバス 基礎知識			2		
2. 採寸・スカートサイズ原型制作			2		
3. パターン塾活用法			4		
4. 各自デザイン作図			4		
5. シーチングトレース・裁断・印付け			2		
6. 工程説明・工程表			2		
7. 部分縫い			4		
8. 本縫い①ロックミシン・芯貼			18		
②ファスナー付け					
③脇縫い					
④裾始末					
⑤ベルト作り・付け					
⑥かぎホック・スナップ付け					
9. 仕様書			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ソーイング I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ソーイング I D			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	80	2	安藤 明子
授業の目的・目標					
原型を使った一般的なシャツの製図法・構造・縫製法を学ぶ。					
授業の概要					
シャツの基礎知識、原型を使って製図、前立て・台衿・剣ボロ・ボタンホールなどのシャツの構成要素の縫製テクニックを使い自身のシャツを制作する。					
成績評価の方法					
作品の完成度・課題の提出及び提出期限・授業に対する取り組み等を総合的に評価する。				学習意欲	40%
				課題	40%
				提出期限	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系服飾造形講座③ブラウス・ワンピーステキスト、誌上・パターン塾トップ編テキスト、A4無地ルーズリーフ、A4リングファイル、洋裁道具一式、全定規一式、マスキングテープ、ピンセット、カッターナイフ、シーチング金属定規					
			時間数		
1.	シラバス、基礎知識		2	16.	⑨カフス作り・付け
2.	作図説明・原型操作		2	17.	⑩ボタンホール・ボタン付け
3.	作図 身頃		20	18.	⑪裾始末
4.	襟・袖			19.	部分縫い・剣ボロ
5.	パートトレース		4	20.	工程表・仕様書作成・まとめ
6.	パターン		4		
7.	裁断・印し付け・芯貼		8		
8.	本縫い①上前身頃		34		
9.	②下前身頃				
10.	③後ろ見頃				
11.	④ダーツ				
12.	⑤ポケット				
13.	⑥ヨーク付け				
14.	⑦衿作り・衿付け				
15.	⑧袖作り・剣ボロ・袖付け				
					時間数
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ソーイング I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ソーイング I E			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	80	3	安藤 明子
授業の目的・目標					
一般的なワンピースの製図を応用して自身のデザインを造形する。コンシールファスナー付け・袖付けなどのテクニックを学び、一年次のまとめとして製図法や縫製法を生かす作品とする。					
授業の概要					
原型を使ったワンピースの製図法を学んだあと、自身の原型を使って製図をする。仮縫いをして体に合わせた後、パターンを作り縫製する。制作工程ではそれぞれの縫製法をを学び、資料としてまとめる。					
成績評価の方法					
作品の完成度・課題の提出状況・一年次のまとめの作品に対する取り組み方等を総合的に評価する。					課題 50% 学習意欲 40% 提出期限 10%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系服飾造形講座③ブラウス・ワンピーステキスト、誌上・パターン塾ワンピース編テキスト、A3クリアファイル、A4リングファイル、A4無地ルーズリーフ、洋裁道具一式、全定規一式、マスキングテープ、金属製定規、シーチング					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. シラバス・基礎知識			2	9. 本縫い①コンシールファスナー付け	
2. パターン塾による製図法			5	②切替え線	
3. 各自デザイン1/2製図 実物製図			12	③肩・脇	
4. ①シーチングトレース			6	④見返し・衿ぐり始末	
②裁断・印付け				⑤袖づくり・袖付け	
③組み立て			6	⑥ホック付け	
④仮縫い・補正			8	10. 工程表・仕様書作成	
5. パターン			4	2	
6. 裁断・印し付け（表地・芯地）			6		
7. 芯貼・ロックミシン			2		
8. 部分縫い コンシールファスナー付け 見返し作り・始末			3		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			服飾造形 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ソーイング I F			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	50	2	長野 景惟
授業の目的・目標					
既存の基本パターンから制作の流れの理解、パンツ構造と縫製方法を身につける。					
授業の概要					
パンツの基本的な構造を学び、作図・仮縫いを経て体型に合わせたパンツを縫製する。					
成績評価の方法					
1. 作品の完成度 2. 作品の提出 3. 授業態度					課題 40% 提出期限 20% 学習意欲 40%
使用テキスト・教材					
誌上・パターンパンツ編テキスト、文化ファッション大系服飾③、洋裁道具一式					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 授業基本説明、採寸			2		
2. 実物製図			2		
3. 裁断、仮縫い			4		
4. 補正・パターン作り（縫い代つき）			4		
5. 生地裁断・印付け			8		
6. 部分縫い①サイドシームポケット			4		
7. ②脇ポケット			4		
8. 本縫い（ポケット・股下・裾）			4		
9. 部分縫い③ファスナー付け			4		
10. ④ベルト			4		
11. 本縫い（ファスナー・ベルト・ボタン又はホック			6		
12. 仕上げアイロン、仕様書まとめ			4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			服飾造形 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度						
				科目コード								
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス							
パターンメイキング I			講義・演習		ファッションデザイン科							
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員							
1	通期	必修	100	3	戸澤 智也子							
授業の目的・目標												
基本的なブラウス・スカートのデザインをパターンに落とし込むことができるようになる。												
授業の概要												
既製服の流れを知り、パターンメイキングの基礎を習得する。												
成績評価の方法												
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。					授業態度	50%						
					課題	50%						
使用テキスト・教材												
文化ファッション大系テキスト、誌上・パターン塾テキスト、配布プリント												
授業内容・授業計画												
1. 既製服の概念 2. (用具、用語、J I S企画) 3. ティッシュの箱の展開 4. スカート タイト・フレア・ギャザー・タック 5. ダーツの展開1 6. ブラウス(トップス)作図の考え方① 7. デティール(衿) 8. デティール(袖) 9. ブラウス(トップス)作図の考え方② 10. パンツ			時間数				時間数					
			1									
			8									
			12									
			8									
			10									
			18									
			18									
			13									
			12									
			その他				関連科目					
			※単元ごと演習課題を実施する。				服飾造形、ドレーピング、アパレル素材論					
※実務経験のある教員が担当する科目である。			アパレルCAD									

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ドレーピング I			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	戸澤 智也子		
授業の目的・ 目標							
立体裁断と平面製図の違いを理解できるようにし、製図時に応用できるようになる。							
授業の概要							
ドレーピングの基礎を習得。ドラフティングすることにより、人体構造が理解できる。デザインをパターンに落としこむことを容易にする。							
成績評価の方法							
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。					授業態度	50%	
					課題	50%	
使用テキスト・ 教材							
文化ファッション大系、配布プリント							
授業内容・ 授業計画							
			時間数				時間数
1. 立体裁断と平面製図の違いについて			1				
2. 道具、シーチングの扱い方			1				
3. ベーシックスローパー (ストレート)			6				
4. ベーシックスローパー (タイト)			6				
5. フレアスカート			6				
6. オリジナルデザインブラウス			10				
				</			

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ファッションデザイン I			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	60	2	大谷 順
授業の目的・目標					
ファッションデザイン画の基礎を習得する。様々な着装・素材・発想表現が出来る。					
授業の概要					
基本プロポーションから着装表現、オリジナルデザインの展開を総合的に習得し、発想表現からミニポートフォリオを制作する。					
成績評価の方法					
課題評価と学習意欲による点数。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系ファッションデザイン画テキスト、資料プリント、ケント紙、彩色用具					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 授業説明・基本プロポーション練習			4		
2. 基本プロポーション習得			4		
3. アイテム図 1			4		
4. 重心の移動したヌードを描く			4		
5. 斜めからヌードを描く			4		
6. 写真のヌードを8頭身にする			4		
7. 着装表現 写真ポーズ			4		
8. 着装表現 ベーシックドレス			4		
9. 手、足、顔の書き方			4		
10. オリジナルデザイン 着色			4		
11. ファッション画作成			4		
12. ファッション画仕上げ			4		
13. 素材表現			4		
14. アイテム図 2			4		
15. 発想練習 1			4		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度	
時間数は45分換算				科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
アパレル素材論 I			講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	50	1	金原 陽子	
授業の目的・目標						
・アパレル製品の必須要素『素材』に興味をもち、研鑽しようとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解し、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。						
授業の概要						
・繊維から布地・製品になるまで、各過程の流れを知る。 ・繊維、糸、布地の性質・特徴を学ぶ。 ・服飾造形の製作物と連動し、アイテム毎に向く素材をしり、表現の具現化に役立てる。						
成績評価の方法						
1. 試験・課題（期末試験点数、実習課題の完成度） 2. 平常点（主体的授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらの観点より総合的に評価する。					試験・課題 65% 平常点 20% 学習意欲 15%	
使用テキスト・教材						
アパレル素材論（文化服装学院編） 表生地標本集 A4ファイル						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1.	シラバス説明	素材論の学びと活用	2	16.	ワンピースに向く素材	2
2.	品質表示	サンプルシート説明	2	17.	布地の変化組織	2
3.	天然繊維①綿	麻	2	18.	布地の仕上げ加工①	2
4.	天然繊維②毛	絹	2	19.	布地の仕上げ加工②	2
5.	スカートに向く素材		2	20.	フォーマル素材	2
6.	化学繊維①再生繊維	半合成繊維	2	21.	その他の布地① レース	2
7.	化学繊維②合成繊維		2	22.	その他の布地② 天然皮革	2
8.	糸について		2	23.	その他の布地③人工皮革 毛皮 羽毛	2
9.	布地①織の三原組織		2	24.	パンツに向く素材	2
10.	布地②編の三原組織		2	25.	ここまでのまとめ 小テスト	2
11.	織実習①	三原組織モデル	2			
12.	織実習②	オリジナルスワッチ	2			
13.	シャツに向く素材		2			
14.	カットソー素材		2			
15.	オリジナルスワッチ	小テスト	2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ファーストプロジェクト			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通期	必修	30	1	カルフォ 香奈		
授業の目的・ 目標							
・ リサーチからアイディア発展させデザインを形にする方法を手を動かして研究できる ・ アップサイクルのデザインを考えることで、今の時代に必要とされる意識を養える ・ デザイン画のプレゼンテーションし、聞くことで自分にはないものを学ぶ力をつける							
授業の概要							
着なくなったTシャツをアップサイクルして、トップスを制作する。ディテールや、シルエット、丈などのデザインはTシャツにとらわれずに自由に発想する。							
成績評価の方法							
課題提出、学習意欲					課題	60%	
					平常点	40%	
使用テキスト・ 教材							
スケッチブック、洋裁道具、配布資料、絵具や画材							
授業内容・ 授業計画							
			時間数				時間数
1. 授業説明、アップサイクルについて			2				
2. リサーチ、アイディアサンプル試作			4				
3. 1対1対話、アイディア発展			4				
4. アップサイクル制作①			4				
5. アップサイクル制作②			4				
6. アップサイクル制作②			4				
7. デザイン画③			4				
8. プレゼンテーション、			4				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
デザインリサーチ I			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	カルフォ 香奈
授業の目的・目標					
興味ある事を服として表現できる楽しさを実感できる。 インスピレーションからリサーチ、発展、デザイン展開のながれを学ぶことができる。 作品のプレゼンをすることで人に伝える力をつけられる。					
授業の概要					
リメイクを基本に立体的に服のデザインをする。自分が興味あることを深くリサーチして、何を表現したいのかを研究しファッションデザインにどのように落とし込むかを考える。スケッチブックにプロセスを記録していき、最後のプレゼンの時に作品と一緒に発表する。					
成績評価の方法					
・課題提出（作品完成度、発想の独自性） ・学習意欲					課 題 60% 平 常 点 40%
使用テキスト・教材					
スケッチブック、配布プリント 洋裁道具、シャツ					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	授業説明、即興デザイン&デッサン		4		
2.	①即興DD、ブレインストーミング		4		
3.	即興DD、画像リサーチ・ムードボード		4		
4.	リサーチからの即興DD、デザイン画		4		
5.	デザイン展開 → 4体		4		
6.	②即興DD、ブレインストーミング		4		
7.	即興DD、画像リサーチ・ムードボード		4		
8.	リサーチからのコラージュデザイン画		4		
9.	デザイン展開 → 4体		4		
10.	③シャツ即興DD、ブレインストーミング		4		
11.	画像リサーチ・ムードボード、シャツ即興DD		4		
12.	シャツをカタチにする、デザイン画展開		4		
13.	シャツをカタチにする、デザイン画展開		4		
14.	シャツをカタチにする、デザイン画展開		4		
15.	プレゼン、作品撮影		4		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
色彩学			(講義)・(演習)		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	50	2	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
私たちは色に囲まれて生活をしています。その色から受ける影響は大きく、センスの良し悪しにも多いに関係があります。色彩検定とは色に関する幅広い知識や技能を問う検定試験であり、取得することで自信を持って配色ができるようになります。					
授業の概要					
テキストに添い理解を深めていきます。項目毎に小テストで定着率を確認し、誤答は必ず復習してから次に進みます。最終的には過去問題の合格ライン7割以上を安定してとれるようにします。					
成績評価の方法					
色彩検定3級合格に加え授業の出席率、授業の理解度、意欲を総合的に判断して決定します。					平常点 100%
使用テキスト・教材					
色彩検定3級テキスト、配色カード、のり、はさみ、筆記用具					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	光と色		4		
2.	眼のしくみ		2		
3.	混色		2		
4.	色の三属性		4		
5.	トーン		2		
6.	色彩心理		3		
7.	色の対比、同化		4		
8.	色相配色		4		
9.	トーン配色		4		
10.	慣用色名		2		
11.	ファッション		2		
12.	インテリア		2		
13.	過去問題		5		
14.	過去問題		5		
15.	過去問題		5		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ファッショントレンド I			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	20	1	菅 麻紀 相川 克彦		
授業の目的・目標							
パラダイムシフトの中におけるファッションの変化を理解しながら、新時代の業界人の役割を理解する。							
授業の概要							
世界のファッションビジネス&トレンドの重要なニュースを追いながら、業界の近未来を展望する。							
成績評価の方法							
課題提出および授業の出席率を総合的に評価					課題	60%	
					学習意欲	40%	
使用テキスト・教材							
ファッション週刊誌「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1. WWD JAPAN紙面よりトピック解説			2				
2. "			2				
3. "			2				
4. "			2				
5. "			2				
6. "			2				
7. "			2				
8. "			2				
9. "			2				
10. "			2				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ファッション史			(講義)・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	20	1	金原 陽子
授業の目的・目標					
・自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。 ・デザイン発想のヒントとして資料を使うことが出来るようになる。					
授業の概要					
・各時代ごとの資料プリントと教科書で、服飾文化の変遷を辿り、『衣服』がその時々々の社会構造、人々の考えなどを反映したものであることを意識して学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 試験（期末試験点数）				試験	65%
2. 平常点（主体的授業参加度）				平常点	20%
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）				学習意欲	15%
これらの観点より総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
ヨーロッパモード（文化学園服飾博物館）、資料プリント、A4ファイル					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	シラバスの説明	1	9.	20世紀の服飾①	1
	古代～中世の服飾①	1		20世紀の服飾②	1
2.	古代～中世の服飾②	1	10.	ここまでのまとめ（課題）	1
	16世紀の服飾①ルネサンス列強国	1		20世紀の服飾③～1920	1
3.	16世紀の服飾②	1			
	17世紀の服飾①オランダスタイル	1			
4.	17世紀の服飾②ルイ14世時代	1			
	ここまでのまとめ（課題）	1			
5.	18世紀の服飾①ルイ15世時代	1			
6.	18世紀の服飾②ルイ16世時代	2			
7.	19世紀の服飾①第一帝政	1			
	19世紀の服飾②王政復古	1			
8.	19世紀の服飾③第二帝政	1			
	19世紀の服飾④第三共和制	1			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
デザインアプリケーションⅠ			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	本野 智美
授業の目的・目標					
デザインの現場で必須であるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopを学びながら、ファッションにおけるグラフィックススキルの関連と重要性を伝える。					
授業の概要					
Illustrator、Photoshop各アプリケーションの基本操作方法を習得する。ツール等の基礎知識から始まり基本操作の習得を積み重ね、簡単な図形制作から資料作成など、PCでデザインできる力を身につけていく。カテゴリー終了ごとに終了課題にチャレンジし、将来的にデザイナーとして企業に勤めることを想定した写真と文字のレイアウトセンスを磨く。					
成績評価の方法					
1. 学習意欲／取り組みの姿勢と真剣度 2. 理解度／基本操作の理解 3. 課題提出／発想力とデザインクオリティを評価対象とする					学習意欲 20% 理解度 30% 課題提出 50%
使用テキスト・教材					
ノートパソコンは毎回持参・教科書配布～必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
1. 【Illustrator】基礎 2. ・基礎知識～Illustratorでできる事 3. ・基本操作方法習得～様々なツール 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. ・様々なツール／応用課題 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. ・パスの描き方習得～ペンツール 14. 〃 15. 〃		時間数 4 12 8	16. 〃 17. ・ペンツール／応用課題 18. 〃 19. 【Photoshop】基礎 20. ・基礎知識～Photoshopでできる事 21. ・基本操作方法習得～様々なツール 22. ・画像加工と色調補正 23. 【Illustrator＋Photoshop】終了課題 24. ・課題オリエンテーション 25. ・発想～アイデア出し 26. ・素材集め 27. ・デザイン作業 28. 〃 29. 〃 30. プレゼンテーション～クラス内講評会		時間数 8 4 4 4 14 2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			デザインアプリケーションⅡ		

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ファッション社会学Ⅰ			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	菅 麻紀
授業の目的・目標					
多様化する社会的需要に応じて、ファッションの役割を様々な視点で学び、業界の基礎知識の理解を深め、創造に活かせる情報の引き出しを増やす。					
授業の概要					
社会動向や文化から派生するトレンドや実生活に包括的に拡大するファッションについて学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点（主体的授業参加度） 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらの観点より総合的に評価する。					平常点 40% 学習意欲 60%
使用テキスト・教材					
映像資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	広義的ファッションとトレンド		2		
3.	ファッションビジネスの変遷		2		
4.	50年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
5.	60年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
6.	〃		2		
7.	70年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
8.	〃		2		
9.	80年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
10.	〃		2		
11.	〃		2		
12.	90年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
13.	〃		2		
14.	2000年代 社会経済カルチャーとトレンド		2		
15.	まとめ		2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年 度		2025年度
			科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
キャリアプラン I			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	菅 麻紀
授業の目的・目標					
社会で求められるコミュニケーションスキルと課題解決能力を養うと共に、ファッション業界を構成するアパレル生産・流通システム、そのほか服飾に関わる職種について知り、就職活動に向けた心構えと具体的な進路に向け必要な準備を行う。					
授業の概要					
社会性を養うための解説とワークショップ、ほかアパレルからコスチュームに関わる業種や職種一連を流通の流れに沿って解説する。					
成績評価の方法					
1. 平常点（主体的授業参加度） 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらの観点より総合的に評価する。					平常点 40% 学習意欲 60%
使用テキスト・教材					
画像・映像資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. オリエンテーション			2		
2. コミュニケーション力について			2		
3. 問題解決ワーク			2		
4. ファッション業界について			2		
5. 原料や材料を生産する【川上】			2		
6. 原料や材料から製品を作る【川中】			2		
7. ”			2		
8. ”			2		
9. 商品を消費者へ販売する【川下】			2		
10. 目標達成に向けて			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					